やさしくね やさしくね やさしいことはつよいこと

January

令和5年 No.166 発行: 社会福祉法人 育和会 愛媛県上浮穴郡久万高原町久万 1447

TEL:0892-21-0777

社会福祉法人 育和会 『心を育てる』

二歳を過ぎ三歳を迎えるようになると、言葉を 使って自分の思いを表現したり、友だちと楽し い気持ちを共有したりして関わりが深まっていき ます。保育者や友だちとのやり取りで「嬉しい」 「楽しい|「悲しい| などの様々な感情体験を味 わうようになります。冬は室内で過ごすことが多 くなり、積み木やブロック、絵本やパズルなどに じっくりと取り組んでいます。友だちと遊ぶこと で見立て遊びも広がり、会話も活発に交わされ ています。また、わらべうたや手遊びも保育教 諭の真似をして、繰り返し歌っています。昔から 歌われ、遊び継がれて、伝承されてきたものは 時代が変わっても子どもを引き付ける不思議な 魅力があるようです。安心できる環境のもとで、 身近な保育者や友だちと交わす心地よいやり取 りが「言葉」を育む土台を作ります。廃ることの ないわらべうたや手遊びの豊かさや良さを伝え ながら、子ども達と楽しんでいきたいと思います。 (久万こども園 保育教諭 小黒 五月)





『ようこそ おひさま保育園』

地域の方との交流の場として行っている「おひさまひろば」に、Happy House から3組の親子が遊びに来てくれました。 育和会の同じ施設ではありま すが、親子での交流は初めての試みでした。おひさま保育園の2歳児の子ども たちや地域の親子の方々と一緒に芝生広場でどんぐりのマラカスづくりやペー プサートを楽しみました。その後、園内を見学していただき、おひさま保育園 での時間も楽しんで頂きました。子どもやスタッフの交流の場になったのはもち ろん、おひさま保育園を知ってもらう良い機会にもなりました。 今後も育和会四 施設の交流を持ち、お互いに学び合いながら、それぞれの施設の良さを生かし た活動を進めていきたいと思います。

(企業主導型保育園 おひさま保育園 主任保育士 鈴木 奈帆)



人万こども園(幼保連携型認定こども園)

『保育参加を行いました』

お子さんの園生活の 様子を知って頂き、ご 家庭での育児の参考 にして頂くことを目的 に1,2歳児の保護者 の方を対象に「保育参 加上を行いました。

2歳児のみかんグルー プでは「はらぺこあお むし を足形スタンプ で製作し、足に絵の具 を塗ってもらうと「く すぐったい!」と言い ながら嬉しそうな笑顔 の子ども達でした。思 い思いの遊びを親子 や友だちと楽しむ微



すぐったい!!』



『パパのお膝大好き!』

笑ましい姿も見られました。参加 した保護者の方からは、「園での 遊びの様子や、保育者の子ども 達との関わりが見れて良かった」、 「家とは違った姿も見られ、楽し かったです!」「とても良かったの で定期的に行って欲しい。| 等の 声が聴けました。私達保育者も保 護者の方とゆっくりお話できた貴 重な時間となりました。今後もこ のような機会を設けていきたいと 思います。



『みんなど一緒に』

(保育教諭 清水 由美子)

■NIKO NIKO 館 (児童館)

『NIKOアートギャラリー2022』

新型コロナウイルスの影響により今年度も「えひめ 児童館ジャンボリー」は各児童館にて実施となり、 NIKO NIKO館では「NIKOアートギャラリー 2022」 と題し子ども達の作品展示を行いました。12月開催 ということで冬をテーマにした雪だるまやスノードー

ムの作品のほか、モビー ルや段ボール鉄砲など、 廃材やクロモジの枝な ど身近な素材を利用し た作品が多く出来上がり ました。保護者の方や、 NIKO NIKO館を利用し てくださる地域の方など に見て頂き子ども達の得 意げに説明する姿や、褒 めてもらって照れながら も嬉しそうな顔がたくさ ん見られました。3年目 ということで昨年参加し





『私の作品これだよ』

た子どもたちからは「今年は ○○をつくりたい」という積 極的な言葉が多く聞かれ、友 達や上級生の作品を見てすご いなと感動した経験から、次 は自分も作ってみたいという 意欲につながったのではない かと思います。





放課後子ども教室 【学校・家庭・地域連携推進事業】

『香りの保育』

地域のイベントなどで香りのアドバイザーとして活動されている河 野さん、門さんは、毎週お花やハーブ、木の実といった植物を玄関 やテーブルなどにかざり、季節の便りを届けてくださっています。 見た目の美しさや香りを感じて「きれい、いいにおいがする」と

子ども達が気づき、見た ことない植物にはこの花 の名前は何て言うんだろ う?と興味を持つきっか けになっています。季節 の植物を通して豊かな情 操が育まれているのでは ないかと感じます。



『八一プ"ティーはいかが"?』



『癒すれます』

【1月の活動日】

4日(水)	あそびの TAKEOUT	
5日(木)	あそびの TAKEOUT	
7日(土)	あそびの TAKEOUT	
11日(水)	パワーキッズ フラダンス	
12日(木)	おかしやさん	
14日(土)	こっとんコットン	
18日(水)	笛ヶ滝 day	
19日(木)	おかしやさん	
21日(土)	Cook ドゥドゥル	
25日(水)	フラダンス 笛ヶ滝 day	
26 日 (木)	おかしやさん	
28日(土)	あそびの TAKEOUT	
※水、木、土曜日 あそびのTAKEOUT実施しています。		

NIKO NIKO クラブ(学童保育)

『変幻自在の遊び方』

NIKO館の園庭には薪木や丸太、レンガ、板な ど数多くの自然物があります。

それらを使って子どもたちの遊びも広がっていき

ます。ある日は薪 木をバチに丸太を 太鼓にして和太鼓 発表会が行われて いました。木の大 きさやたたく個所 によって音が違い、 30分ほどたたき続 けて、その後は太



鼓に使っていた丸 『アスレチック鬼ごっこ』

太たちの上を通ってのアスレチック鬼ごっこが始 まりました。限られた園庭での遊び方は子ども たちのユニークな想像力を掻き立て変幻自在な のです。 (放課後児童支援員 白川 凛太郎)



『丸太太鼓の演奏会』

Happy House

『わらべうた遊びは…すごい!!』

絵本のおもちゃのお店「うさぎのしっぽ」店主、曽我部安子さんにわら べ歌遊びを教えていただきました。9か月の赤ちゃんから、3歳までの

子どもたちとお母さん、お父さん、 地域の方々も参加されました。「お すわりやす、いすどっせ~。| とお 子さんをひざの上にのせて大人が 椅子になりひざを上下に動かしたり すると、子どもたちがみんな笑顔 になります。びつくりしたのが、「ね んねんねやまの、こめやまちー。」 のわらべ歌です。子どもたちを大 人がおんぶして、歌に合わせて同 じリズムで室内を歩くと、子どもた ちがだんだんお母さんの背中にも たれかかり、今にも寝てしまいそう なくらいです。「これを歌いながら 4周くらい歩いて回ると、たいて いの子は眠くなります。それくらい 子どもたちにとって、わらべ歌は心 地よいものなんですよ。」という曽 我部さんのお話通り。「歌詞を知ら なくても大丈夫。ハミングでもいい です。お母さんの優しい声と同じ リズム、ゆったりした雰囲気で、抱っ こやおんぶなどスキンシップしてあ げれば、子どもはうれしいんです。」



『曽我部さんのわらべう太遊び』



『歌しながら歩くと…』



『心地よくて…』

という、曽我部さんのお話が心に残りました。

(子育て支援員 水谷 伴美)

家庭教育支援 久万高原 Happy サポート

『ママのためのお話会』

~読み語り 相原美紀先生 ピアノ伴奏の橋本英子先生~

心待ちにしている人も多いママ対象のお話会。親子の関わりやいのちの大切 さをテーマにした相原先生の読み語りはすっかりお馴染みになりました。今 回は実話をもとにしたお話をたくさん用意していただきました。頑固なお父 さんが結婚式で涙を見せる「お父さんありがとう」や、嫁いだ娘さんに会お うと電車を待つお父さんのお話「待つ父」などがしっとりと語られ、橋本先

生のピアノ伴奏が参加者をお話の世界に誘いま す。みんなの心を捉えたのは、最近結婚された 相原先生の息子さんに贈られたという手紙「息 子へ」でした。親子の思い出を綴ったメッセー ジを「虹」の曲の伴奏で読まれました。いつも 子育てママを癒してくださる先生ご自身の、ひ たむきさと温かさとユーモアのある子育て観に ほろりとさせられました。

(子育てサポーター 今井 久美子) 『相原先生の読み語り』





『じんわり心に響きます』

【1月の活動日 ■相談日】

5日(木)	
6日(金)	
10日(火)	Happy おでかけ号
12日(木)	ふれあい広場
13日(金)	すくすく day
17日(火)	Happy カフェ
19日(木)	ふれあいタイム
20日(金)	
24日(火)	
26日(木)	ふれあいタイム
27日(金)	ハッピー day
31日(火)	

カレンダー '23

1月 ※予定の変更がある場合がありますが、ご了承ください。







● 開館 •

•

•

『一日で一番 ホッとできる 時間は?』



正岡 美紀 炭酸バブを入れてちょっと熱め の湯船に浸かったあとに、大好 きな炭酸飲料を飲んでいる時が ホッとする時間です。



村田 由美 夕食後、お気に入りの椅子に座 りリラックス。淹れてもらった コーヒーをゆっくり飲む時が私 の「ほっとタイム」です。



矢野 佳代 晩ご飯の片づけを終えて、家族 3人でアニメを観る時間です。 娘も受験生になり家族でゆっく り過ごせる時間も少ない中とて も大切で幸せな時間です。



〒791-1201 愛媛県上浮穴郡 久万高原町久万1447 TEL:0892-21-0777 FAX:0892-21-0772 hoiku@ikuwa.or.jp



Happy House

〒791-1201 愛媛県上浮穴郡 久万高原町久万1444-5 TEL:0892-21-3192 FAX:0892-21-3191 sien@ikuwa.or.jp



〒791-1201 愛媛県上浮穴郡 久万高原町久万1457-1 TEL:0892-21-2335 FAX:0892-21-3222 niko@ikuwa.or.jp





〒790-0012 愛媛県松山市湊町 8丁目120-1 TEL:089-943-2120 FAX:089-943-2135 ohisama_hoikuen@ja-e-chuo.or.jp



